

Q 本学に着任される前にやってこられたことは？専門分野は？

関西のいくつかの大学でロシア語、セルビア語、ロシア語学などを教えていました。専門はスラヴ語学で、主にロシア語、セルビア語、少数言語のルシン語を研究しています。

Q 本学でやりたいことは何ですか？

国際情勢が急激に変化していますが、ロシアを含むスラヴ諸国の言語や文化についてさまざまな角度から知ってもらえるような授業をしたいと思っています。

Q 大学時代はどのような学生でしたか？

どうでもいいことをあれこれ話すのが好きだったので、友人たちや先生方によく話を聞いてもらった記憶があります。

Q 趣味・特技は何ですか？

これといった趣味も特技もありませんが、散歩や旅行に出かけるのが好きです。

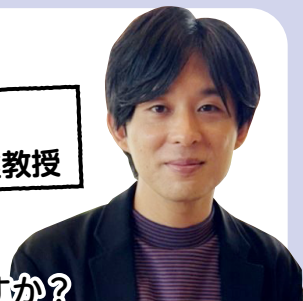
Q 休日はどのように過ごしていますか？

予定がなければ家でゆっくりと過ごすことが多いです。

Q 尊敬する人は誰ですか？

両親です。2人の自分の専門に対する熱意を見ると、「自分も頑張らないと」という気になります。

ロシア学科
岡野 要 准教授



Q 座右の銘は何ですか？

座右の銘はありませんが、学生時代にロシア人の先生から教えてもらった Век живи - век учись (生きている限り学ぶもの) [ことわざ] と Лучше скажи мало, но хорошо (言葉数は少なく、でも的確に) [K. プルトコフ] は今でもよく思い出します。

Q 本学の学生へメッセージをお願いします。

大学生活は、長いようであつという間に過ぎていきます。学科や学年、専門、世代といった枠にとらわれずさまざまな人と交流して、刺激の多い学生生活を送ってください。



国際関係学科
松田 裕美 講師



Q 本学に着任される前にやってこられたことは？専門分野は？

国連職員としてアフリカ、ヨーロッパ、中東及びアジアの国々で、女性と子どもの権利の保護、貧困緩和や難民問題、緊急人道支援といった課題に取り組んできました。専門は開発学、特に開発におけるジェンダー分析です。

Q 本学でやりたいことは何ですか？

ジェンダーや人権は私たちの身近にある問題であるとともに、世界の問題でもあります。持続可能な社会を形成するために、今私たちに何ができるのか。地球規模の問題を外大生と議論し、発信していきたいと思っています。

Q 大学時代はどのような学生でしたか？

外大では語劇に没頭していました。また、卒業後は仕事で日本を離れることになるとはつゆ知らず、一生懸命アルバイトと海外旅行をしておりました。

Q 趣味・特技は何ですか？

陶芸、テニス、映画

Q 休日はどのように過ごしていますか？

ハイキング、温泉、読書

Q 尊敬する人は誰ですか？

上野千鶴子さん

Q 座右の銘は何ですか？

しんどいときにいつも自分に言い聞かせるのは、「人生で起こることは、無駄なことは何もない」。それから、友人であるエチオピア人とヨルダン人に言われた好きな言葉は、「一つの扉を閉めると、必ず次の扉が開く！」です(同じ格言がアフリカにも中東にもあるようですね)。

Q 本学の学生へメッセージをお願いします。

これまで日本人としての価値観を抱えながら、国籍や文化、宗教の異なる人達と、そして想像を絶する困難の中でも未来を信じて必死に生きている人々と一緒に理想を追って働いてきました。この経験を活かし、教員としてのみではなく先輩として、皆さんの悩みや迷いにも耳を傾け、これから世界に飛び出す外大生を応援したいと思います。皆さんの前には、無限の可能性ががありますよ！

